

工業用水道事業

令和3(2021)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名 工業用水道事業

(単位:百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

(1) 収益的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	料金収入	492	492	512	20	
	その他収入	366	365	279	▲ 87	・その他収入は、 除却資産が計画より減少し、長期前受金戻入が減少したことにより減
	計	857	857	791	▲ 66	
支 出	人件費	65	65	73	8	
	減価償却費	222	222	219	▲ 3	
	修繕費	40	40	23	▲ 17	
	その他支出	504	502	409	▲ 95	・その他支出は、 資産減耗費が計画より減少したこと等により減
	計	830	829	724	▲ 106	
経 常 損 益		28	28	67	39	

剰余金残高	538		696	158	
-------	-----	--	-----	-----	--

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

(2) 資本的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	借入金	0	0	0	0	
	その他収入	22	22	18	▲ 4	
	計	22	22	18	▲ 4	
支 出	建設改良費	343	343	124	▲ 219	・建設改良費は、 工事の進捗に合わせて翌年度に繰り越したため減
	借入金償還金	78	77	77	▲ 1	
	その他支出	4	4	0	▲ 4	
	計	424	424	201	▲ 223	
差 引		▲ 403	▲ 402	▲ 183	220	

借入金残高	2,067		2,069	2	
-------	-------	--	-------	---	--

経営指標による経営状況

	収益性				安全性		老朽化の状況		
	経営資本 営業利益率	営業収支比率	料金回収率	経常収支比率	流動比率	自己資本 構成比率	有形固定資産 減価償却率	管路経年化率	管路更新率
	・経営資本でどれだけの営業利益を上げたかで、高いほど良好	・営業活動の比率で、高いほど良好	・給水費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表す指標	・経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	・短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	・総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	・償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標	・法定耐用年数(40年)を超えた管路延長の割合を表す指標	・当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標
	(単位:%)								
平成29年度決算値	▲ 6.36	59.33	106.54	112.23	939.40	85.98	60.19	0.00	0.00
平成30年度決算値	0.10	101.17	108.43	122.47	1,076.05	86.52	62.42	0.00	0.00
令和元年度決算値	0.24	102.72	110.24	122.18	823.41	86.63	66.25	0.00	0.00
令和2年度決算値	▲ 1.97	81.98	102.03	114.82	1,288.01	87.35	65.44	0.00	0.00
令和3年度決算値	▲ 3.45	72.43	93.06	109.26	1,363.28	87.60	66.55	0.00	0.00
全国平均(令和2年度決算値)	-	107.50	103.06	115.38	638.35	73.10	57.63	52.35	0.24
説明	<p>設備更新に伴う資産減耗費が増加したこと等により、事業の収益性を示す経営資本営業利益率、営業収支比率、料金回収率、経常収支比率の4指標は悪化したが、経常利益は確保できていることから経営状況は概ね健全であるといえる。</p> <p>また、経営の安全性を示す自己資本構成比率、流動比率は、全国平均を上回っており、経営基盤は安定しているといえる。</p> <p>一方、有形固定資産減価償却率では、償却資産の減価償却が6割を超えて進んでいるが、日頃の保守点検によって各資産の劣化状況を把握し、更新計画に反映させながら順次更新に取り組んでおり、特に問題はない。</p>								

※ 営業収支比率:単年度営業収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 料金回収率:事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況を示す100%以上が必要

※ 経常収支比率:単年度収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 流動比率:短期的に支払うべき債務を支払える現金等がある状況を示す100%以上が必要

工業用水道事業 目標の達成状況

1 財務面に係る評価

目標の達成状況

	【目標】 毎期、経常利益を確保し、健全な運営を確保します。
決算値	67百万円
評価	A
評価に係る説明	目標どおり経常利益を確保したため、A評価とした。

2 事業面に係る評価

(1) 目標の達成状況

	計画業務量 (年間基本供給水量)	設備の故障等による 計画外給水停止件数	需要拡大に向けた PR活動件数	
目標値	R3年度 8,930千m ³	R3年度 0件	R3年度 100件	
実績値	R3年度 8,948千m ³	R3年度 0件	R3年度 115件	
評価	A	A	A	
評価に係る説明	目標を上回る年間基本供給水量を達成したため、A評価とした。	目標どおり、計画外給水停止を発生させなかったため、A評価とした。	目標を上回るPR活動を行ったため、A評価とした。	

(2) 取組実績等

経営方針	令和3(2022)年度の実績	令和4(2022)年度の実績予定
ハード・ソフト両面の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○設備更新計画等に基づく設備の更新 <ul style="list-style-type: none"> ▶1系排水処理池汚泥掻寄機更新工事(R3～R4) ▶急速攪拌機更新工事 ▶貯蔵施設等資材倉庫設置工事 ○耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶管路施設耐震化等検討会の開催(7月、2月) <ul style="list-style-type: none"> ・管路施設耐震化のスケジュール案及び管路更新等調査検討業務委託(鬼怒)の中間報告 ○業務継続計画の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶時差出勤やテレワーク、Web会議の実施 ○実践的な防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> ▶災害対応訓練(地震)の実施(6月) ○応急復旧体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶衛星携帯電話の導入 ▶工業用水道災害相互応援備蓄資機材表等の提供(埼玉県) 	<ul style="list-style-type: none"> ○設備更新計画等に基づく設備の更新 <ul style="list-style-type: none"> ▶1系排水処理池汚泥掻寄機更新工事(R3～R4) ▶取水場油分検出装置更新工事 ○耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶管路施設耐震化等検討会の開催 ○業務継続計画の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶時差出勤やテレワーク、Web会議の推進 ○実践的な防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> ▶災害対応訓練 ▶水道事業等新型インフルエンザ対策訓練 ○応急復旧体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶工業用水道災害相互応援備蓄資機材表等の情報共有
とちぎのものづくりを支える産業基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○給水地域の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ▶芳賀第2工業団地配水管布設工事その1 ▶芳賀第2工業団地配水管布設工事その2(R3～R4) 	<ul style="list-style-type: none"> ○給水地域の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ▶芳賀第2工業団地配水管布設工事その2(R3～R4)

経営方針	令和3(2022)年度の実績	令和4(2022)年度の実績予定
経費削減や需要拡大による財務基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○ターゲットを絞った営業活動 <ul style="list-style-type: none"> ▶給水区域内の新規企業等への営業活動 ▶工業用水需要拡大に向けた検討班を開催(9月、1月) <ul style="list-style-type: none"> ・受水企業の定着及び新規企業の開拓に向けた取組を実施 ○経営基盤の強化 <ul style="list-style-type: none"> ▶鬼怒工業用水道事業(H29～R3)の料金見直しの結果、現行料金を据置き 	<ul style="list-style-type: none"> ○ターゲットを絞った営業活動 <ul style="list-style-type: none"> ▶給水区域内の新規企業への営業活動 ▶工業用水需要拡大に向けた検討班を開催
組織力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の技術力向上や業務に必要な資格取得の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶日本工業用水道協会技術継承研修等の研修会への参加(感染症対策のため派遣中止) ▶職員の資格取得支援(危険物取扱者2名) ○デジタル技術の活用とOJTによる技術継承の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶OJTによる技術継承 ○業務に必要な人材確保 <ul style="list-style-type: none"> ▶工業用水道事業における業務計画の着実な推進に向け、当該計画の業務量に応じた電気職・機械職を確保するため、大卒程度のほか、令和2(2020)年度に再開した高卒程度の採用を継続 ▶必要となる人員が確実に確保できるよう、次の取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・工業系高校訪問による工業用水道事業/水道事業の魅力等のPR (高校訪問 6月8校、1月5校、3月1校) ・技術職現場見学会の実施(9/1 Web実施) ・電気職PR動画を作成しYouTubeでも公開 	<ul style="list-style-type: none"> ○職員の技術力向上や業務に必要な資格取得の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶日本工業用水道協会技術継承研修等の研修会への参加 ▶職員の資格取得支援 ○デジタル技術の活用とOJTによる技術継承の推進 <ul style="list-style-type: none"> ▶OJTによる技術継承 ○業務に必要な人材確保 <ul style="list-style-type: none"> ▶電気職・機械職を確実に確保できるよう、大卒程度及び高卒程度の採用に加え、R5(2023)年度から社会人を対象とした採用等の実施に向けた協議の推進 ▶採用の周知を図るため、以下の取組を継続 <ul style="list-style-type: none"> ・大学や工業系高校訪問による工業用水道事業/水道事業の魅力等のPR ・技術職現場見学会の実施 ・工業系高等学校のインターンシップ受入れ ・電気職PR動画のYouTube公開

経営方針	令和3(2022)年度の実績	令和4(2022)年度の実績予定
<p>SDGs 達成への貢献</p>  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> <p>8 働きがいも経済成長も</p> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>○環境負荷低減(温室効果ガス等)に貢献</p> <ul style="list-style-type: none">▶廃棄物排出抑制と資源リサイクル推進のため、浄水発生土を資源として有効利用(上・工水合計:467 t)	<p>○環境負荷低減(温室効果ガス等)に貢献</p> <ul style="list-style-type: none">▶再生可能エネルギーの導入のため、太陽光発電設備の新設に向けた設計業務委託▶廃棄物排出抑制と資源リサイクル推進のため、浄水発生土を資源として有効利用

3 総合評価

自己評価等						
1 財務面に係る評価 目標の達成状況 ・目標どおり経常利益を確保した。		(2)事業の取組実績等 ・1系排水処理池汚泥掻寄機更新工事は、材料の一部にステンレスなどを採用し発注。長寿命化と維持管理費用の縮減を図った。 ・地震発生時における防災訓練を実施した。 ・芳賀第2工業団地への配水管布設工事を推進した。 ・鬼怒工業用水道事業の料金見直しの結果、現行料金を据え置くこととした。				評価
2 事業面に係る評価 (1)目標の達成状況 ・計画業務量及びPR件数は目標を上回り、計画外給水停止は目標どおり(0件)となった。						A
評価委員会の評価等						
<ul style="list-style-type: none"> ・財務面について、経常利益を確保し目標を達成できている。 ・事業面について、計画業務量、計画外給水停止件数及びPR活動件数の全ての目標を達成できている。 ・令和3年度の取組実績として、設備更新は長寿命化を図りつつ計画どおり進められているほか、新規配水管布設工事を推進することで給水地域の拡大に向けて取り組まれている。 						評価
						A
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	
自己評価	A					
評価委員会の評価	A					

今後の取組課題・改善点等						
<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な工業用水の安定供給を図るため、引き続き、計画的な設備更新工事の実施や業務継続体制の強化等により、ハード・ソフト両面の強靱化に取り組む。 ・受水企業の定着促進と併せ、ターゲットを絞った営業活動や関係機関との連携等により新規需要の開拓に取り組む。 ・持続可能な社会の実現に向けて、工業用水道事業を通じたSDGs達成に貢献する。 						

○ 収支の状況

(1) 収益的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	料 金 収 入	計 画 額		492	491	491	491	499
		当 初 予 算 額		492				
		決 算 額	508	512				
	そ の 他 収 入	計 画 額		366	95	94	94	89
		当 初 予 算 額		365				
		決 算 額	288	279				
支 出	人 件 費	計 画 額		65	56	56	56	52
		当 初 予 算 額		65				
		決 算 額	35	73				
	減 価 償 却 費	計 画 額		222	229	230	222	234
		当 初 予 算 額		222				
		決 算 額	211	219				
	修 繕 費	計 画 額		40	27	11	46	21
		当 初 予 算 額		40				
		決 算 額	48	23				
	そ の 他 支 出	計 画 額		504	262	274	237	267
		当 初 予 算 額		502				
		決 算 額	400	409				
経 常 損 益	計 画 額		28	12	13	24	15	
	当 初 予 算 額		28					
	決 算 額	102	67					
剰 余 金 残 高			629	696				

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

(2) 資本的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	借 入 金	計 画 額		0	0	0	0	0
		当 初 予 算 額		0				
		決 算 額	0	0				
	そ の 他 収 入	計 画 額		22	0	0	0	0
		当 初 予 算 額		22				
		決 算 額	17	18				
支 出	建 設 改 良 費	計 画 額		343	47	681	92	43
		当 初 予 算 額		343				
		決 算 額	67	124				
	借 入 金 償 還 金	計 画 額		78	71	70	70	70
		当 初 予 算 額		77				
		決 算 額	79	77				
	そ の 他 支 出	計 画 額		4	0	0	0	0
		当 初 予 算 額		4				
		決 算 額	0	0				
差 引	計 画 額		▲ 403	▲ 118	▲ 751	▲ 162	▲ 114	
	当 初 予 算 額		▲ 402					
	決 算 額	▲ 129	▲ 183					
借 入 金 残 高			2,146	2,069				

○ 経営指標による経営状況

(単位:%)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
経営資本営業利益率	決算値	▲ 1.97	▲ 3.45				
営業収支比率	決算値	81.98	72.43				
料金回収率	決算値	102.03	93.06				
経常収支比率	決算値	114.82	109.26				
流動比率	決算値	1,288.01	1,363.28				
自己資本構成比率	決算値	87.35	87.60				
有形固定資産減価償却率	決算値	65.44	66.55				
管路経年化率	決算値	0.00	0.00				
管路更新率	決算値	0.00	0.00				

○ 財務面に係る目標の達成状況

(単位:百万円)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
毎期、経常利益を確保	決算値		67				
	評価		A				

○ 事業面に係る目標の達成状況

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
計画業務量 (年間基本供給水量)	目標値		8,930千m ³	8,930千m ³	8,930千m ³	8,930千m ³	9,095千m ³
	実績値	8,940千m ³	8,948千m ³				
	評価		A				
設備の故障等による 計画外給水停止件数	目標値		0件	0件	0件	0件	0件
	実績値	0件	0件				
	評価		A				
需要拡大に向けた PR活動件数	目標値		100件	100件	100件	100件	100件
	実績値		115件				
	評価		A				